

ところ会 9月行事案内

寺坂棚田と彼岸花

黄金の稲穂と朱色の彼岸花が見られる寺坂棚田とその周辺の秩父三十四観音の札所3箇所を周ります。

記

■日 時：令和1年9月20日（金）

所沢駅飯能方面行き後方待合室付近、9時00分集合

下山口、小手指方面の方は西所沢（9:07）あるいは小手指（9:10）に乗り、飯能駅で合流願います。

■見学場所及び時間：コース全長 約5km

所沢駅 9:04 発～飯能駅(着)9:30・(発)9:32⇒横瀬 10:27 着

⇒横瀬町歴史民族資料館

⇒寺坂棚田（休憩）⇒6番ト雲寺⇒7番法長寺

⇒昼食：天狗坂 13:00～14:00⇒9番明智寺

⇒横瀬駅 所沢着 16時頃予定

距離 約5km 20～30m程度のアップダウンあり

■昼食：天狗坂 13:00～の予定 ☎0494-23-8846

古代米定食 1,200円（税抜）（ニジマス甘露煮、そば他）

■交通費：約1050円（所沢－横瀬往復）

入館料：歴史民俗資料館 200円

■散策先簡単ガイド

＜横瀬町歴史民族資料館＞

秩父地域に伝わる考古・歴史・民俗の資料を収集・保管し、併せてこれらに関する資料を展示公開しています。

横瀬のシンボルである武甲山御嶽神社の宮殿（復元）を中心に、武甲山から採集した動植物の標本展示や横瀬町の移り変わりが分かる歴史資料を展示しています。常設展示室の「自然」コーナーでは、根古屋鍾乳洞から産出した、約13万年前のヤベオオツノジ



カ、野牛、オオカミの化石片を展示しています。全国的にもまれな化石資料です。

<寺坂棚田>

埼玉県内最大級の棚田と言われながら、農業従事者の高齢化や後継者不足などにより、大部分が耕作放棄地となって荒れ果てていました。しかし、平成13年から地元農家が中心となって、地域資源である棚田を長期的に保存・活用しようと団体を組織し、都市住民の稲作体験や農地オーナー制度等を始めとした様々な事業を行い、棚田の再生に努めています。



現在は、全体面積約5.2haのうち約4haの水田(約250枚)が復活しています。武甲山を中心に連なる山々を背景にした絶好のロケーションにあり、初夏の田植えから、初秋には黄金の稲穂、朱色の彼岸花など、里山の風景が四季を通して楽しめます。

<秩父札所6番ト雲寺>

向陽山ト雲寺は高台にあり、見晴らしがよく武甲山を正面に望むことができます。寺名は、この寺の開基とされる嶋田与左衛門の法号がト雲源心庵主であったことに由来します。



本尊は、札所の開創時に武甲山山頂の蔵王権現から荻野堂に移されたものであることから、この寺は別名「荻野堂」とも言われます。この寺には、清凉寺式釈迦像、縁起絵巻、山姥の歯など珍しいものも奉納されています。

山姥の歯：ト雲寺の寺宝の山姥の歯は、行基菩薩によって捕らえられた武甲山の山姥が、解き放たれた時に神仏に背かぬと誓いを立て、歯を三本

抜いて差し出したので、行基はそれに本尊を刻んで安置したという言い伝えが残っています。

<秩父札所 7番法長寺>

札所七番は**牛伏堂**といい、本尊は十一面観音（伝行基作）です。当初、根古屋3区の牛伏にあったが、天明2年（1782）の災害にかかり**別当寺の法長寺本堂に移され**、これ以降、合わせ祀られている。このことから、現在、法長寺は札所七番と呼ばれています。



法長寺は青苔山と号し、曹洞宗です。本堂は間口 24.4m、奥行 18.6m で、**秩父札所随一の大伽藍**で、**平賀源内の原図**によるといわれています。

堂内正面の欄間には、四国札所八十六番志度寺の縁起玉取り物語の彫刻がある。また、堂内左右に座敷書院を配し、内陣のまわりには極彩色の彫刻欄間、格天井には花鳥が描かれています。

牛伏堂の由来は諸説あるが一説には牛が伏して動かなくなり、去った後から十一面観音像があらわれたことに由来していると言われ、**牛の石像**もある。



<秩父札所 9番明智寺>

明星山明智寺（臨済宗）は建久2年（1191）、明智禅師の開創と伝えられ、本尊は如意輪観音です。

観音堂は札所五番の語歌堂と同時代に造られたと伝えられており、当時の観音堂は約7m四方で語歌堂と同規模であり、荘厳なものであった。



明治16(1883)年に落雷で焼失したため、その後は民家風の仮堂であったが、平成2年に現在の観音堂に建て直された。

恵心僧都の作といわれる如意輪観世音は、安産・子育ての観世音菩薩として知られ正月16日と盆の16日の縁日には女性の参詣者でにぎわいます。

天正の頃、兵衛という少年が盲目の母親と観音堂にこもって一心に読経をしたところ、明け方に母親の目があいたことから、**眼の病の治癒**にもご利益があるといわれています。

境内の東側には**青石塔婆**が三基立っていて、碑面には蓮華座に聖観世音にかかわる梵字が彫り刻まれています。これは、南東にある天狗山の裏参道(中腹)から昭和初期に発見されたものです。

また、西側には**文塚**があります。昔、一条天皇の皇后が難産で苦しまれたとき、恵心僧都が勅命により九寸一分の香木に如意輪観音を刻み、安産を祈願して無事出産されました。以後女人が願いを書いて納めたのが文塚のはじまりといえます。



子育てや眼病にも霊験がある、ということから、近年では愛猫や愛犬の健康祈願に訪れる人も増え、玩具類の奉納が多くみられます。

帰路

横瀬駅

所沢駅

14:46 発

15:59 着 (所要時間 73 分)

横瀬駅発：毎時 11 分、46 分 そして 29 分は特急 (所要時間 55 分)

右は古代米定食の写真で、これに古代米(左下写真)とソバが付きます。

